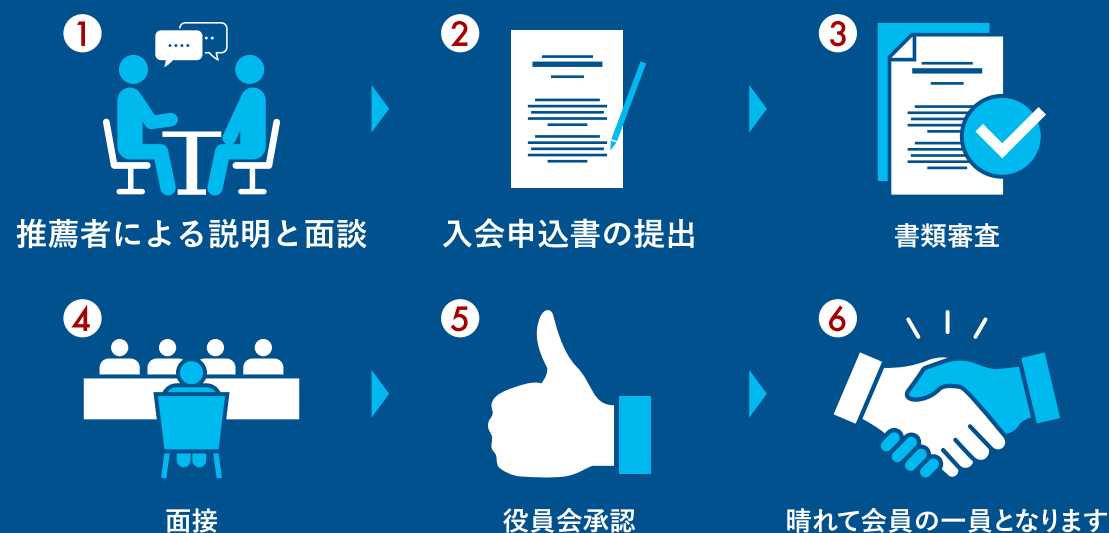


入会メリット

- 1** 自己成長の場 **2** ビジネスの拡大 **3** 人脈の拡大

鳥取県西部中小企業青年中央会では自分を試す機会やチャンスがたくさんあり、色々な意見や情報も得ることが出来ます。同時に中小企業の発展と西部地域経済の活性化を担う一員となることで、人脈も大いに広がります。

入会までの流れ



入会の資格



- ①原則として満25歳以上～満43歳以下であること。
- ②鳥取県西部に本店・支店を置く経営者・後継者・幹部候補生であること。
- ③現役会員2名、または現役会員1名とOB会員1名の推薦を得て、入会申込書を提出した者であること。

入会費用について

入会費	年会費
¥30,000	¥105,000

鳥取県西部中小企業青年中央会

事務局：鳥取県米子市加茂町2-204 米子商工会議所5階／鳥取県中小企業団体中央会米子支所内



担当者

委員会 氏名

連絡先

成長と
出会いが、

Guide to Membership

入会のご案内

鳥取県西部中小企業青年中央会



「企業」と
「まち」の
発展に。

会長挨拶



第51期会長 住 真介
所属企業 住法律事務所 代表弁護士

スローガン 英雄

テーマ：全身全霊、限界突破

鳥取県西部中小企業青年中央会は、昭和50年の創立以来、地域の若き経営者・後継者が互いに学び、友情を育み、地域社会に貢献する場として歴史を刻んでまいりました。第51期を迎えた今、私たちは「英雄」をスローガンに掲げ、一人ひとりが全身全霊で挑戦し、限界を超えていく姿勢を大切にしています。

ここには、業種や立場を超えて切磋琢磨できる仲間がいます。例会や事業を通じて、新たな知見や人脈を得ることができ、経営者として、また地域を担う人として大きく成長できる環境があります。ともに未来を切り拓き、地域を支える力となります。

皆さまのご入会を心よりお待ちしております。

鳥取県西部中小企業青年中央会とは

ABOUT US

私たちは、鳥取県西部にある企業の25歳以上45歳以下の経営者、役員、管理者および後継者をもって構成する若手経営者団体で、昭和50年(1975年)に結成されました。

地元中小企業の発展と地域経済の活性化を目的に、経済人としてあるべき姿を学び研鑽に努め、青年であることを強みに、さまざまな活動をおこなっています。

5W1H



When
例会と委員会を
ひと月に1回ずつ開催！



What
地域経済・組織の活性・生産性の
向上など現在の中小企業における
課題を勉強します！



Where
鳥取県西部だけでなく
東部・中部地域や県内外の
経済団体とも交流があります！



Who
次代の中小企業会を担う青年
(経営者・後継者・経営幹部など)が
集まる会です！



Why
自社企業・地域の発展や
自己のスキル向上のため、
毎年テーマを決めて活動します！



How
英知・友愛・団結の綱領のもと、
自己研鑽に励みます！

毎月定期開催

委員会

中央会では、入会すると必ずいずれかの委員会に所属します。各委員会は年度の基本方針に基づき、それぞれのテーマに沿って研究や研修を行います。

委員会は毎月一度開催され、委員長・副委員長を中心に10～15名程度で編成され、仲間とともに一年間活動します。

例会

例会とは、毎月15日を基本に開催され、会員全員が参加する会です。各月の担当委員会が自らの研究テーマに基づき、企画内容を検討し、準備・発表を行います。開催形式はさまざま、テーマに沿った講師を招いての講演会や、委員会メンバーによる研究成果の発表など、毎回多彩な内容で実施されています。

他団体との交流事業

鳥取県西部地区青年経済団体連絡協議会

青経連とは米子商工会議所青年部、米子青年会議所、境港青年会議所の他の青年経済団体と当会で年に1度交流を深める場として開催されます。内容は毎年趣向を凝らし、様々な内容で開催されます。他団体との情報交換や相互理解を深める貴重な場となります。

中海圏域青年経済団体交流事業

中海圏域で活動する青年経済団体との交流。鳥取県西部中小企業青年中央会と松江商工会議所青年部と安来商工会議所青年部の3団体で毎年交流事業をおこなっています。このつながりの中で、当会は毎年、松江商工会議所青年部が担当する松江水郷祭にブースを出展し、他団体との交流の機会としています。

年間スケジュール例



総会・卒会式・総会懇親会



県親睦事業(合同例会)



研修旅行

7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月

トライアスロン・県総会・祝賀会

忘年例会

新年賀詞交歓会

大山お地蔵さまフェスティバル

主な取り組みと過去の事業



周年事業

周年事業には「5周年」と「0周年」のものがあり、5周年事業は会内部向けのオリエンテーションの要素が強く、0周年事業は地域住民向けに、地域社会における当会の存在意義を伝える機会となっています。これまでの周年事業では、40周年に市川海老蔵(現園十郎)の特別舞踊公演、50周年には「米子ドリームランタンナイト」を開催し、いずれも多くの方にご来場いただきました。



大山お地蔵さまフェスティバル

大山お地蔵さまフェスティバルとは、当会が地域への恩返しを目的に平成28年から継続して開催しているイベントです。大山寺参道に並ぶお地蔵さまの清掃を中心に、毎年、創意工夫を凝らした様々な催しを行っています。



全日本トライアスロン皆生大会への運営参加

当会では昭和62年より、団体ボランティアを継続事業として取り組んでおり、競技委員会の一員として大会運営にも携わっています。大会までの数か月間の準備から、当日の運営、そして大会終了に至るまで、一致団結して活動しています。

会員の声

Q 中央会で得られた一番の財産は何ですか？



かばはうすホールディングス株式会社
代表取締役
松田 幸紀 OB (令和元年度卒業)

A 仲間と共に挑み、語り合い、笑い合った日々が、私を成長させてくれました。この出会いは、卒業後もずっと私の背中を押し続ける、かけがえない原動力です！

Q 入会してみて、最初に感じた魅力は何でしたか？



株式会社さんれいフーズ
総務 副参事
小林 未由 会員 (令和6年度入会)

A どの会員からも温かく迎え入れてもらえ、安心して参加できたことです。業務時間外の活動は体力的に大変な面もありますが、自分の世界が広がる喜びも実感しています！

Q 入会して、どんなときに“入ってよかった”と感じますか？



野口電工
代表
野口 健太郎 会員 (平成21年度入会)

A 日常では得られない貴重な体験に参加して学び、活動を通して多くの仲間と出会えたとき、本当に入ってよかったとあらためて実感します。